

# 養親・里親のための ヒーリング・ペアレント ワークショップ

## 癒しの子育て法 “ヒーリング・ペアレント”

- “どうせ無理”と言って新しいことにチャレンジできない（新学期のたびに不安定になる）
- モノを大切にせずよく壊す、暴言や暴力を振るう ● 自分の間違いを他人のせいにして責める
- いつもイライラ、キレるので同年代の友だちがいらない 等

問題行動を起こす子どもの背景には、**心に傷を持つ**が故に養育者や大人を信頼できない「**愛着障がい**」が疑われます（**実親との離別、家庭内暴力の目撃、育児放棄や児童虐待等の体験を持つ子どもたち**）

愛着に課題のある子どもの子育ての鍵は「親と子ども双方の癒やし」にあります。

講師のテリー・リヴィー博士は1985年から現在まで1000組以上の愛着障がいの子どもとその家族を癒やしてきました。日本人家族の治療にも携わり、文化や制度を超えた効果を上げています。愛着障がい治療の第一人者による家族の絆・愛着形成の重要性を養親・里親・社会的養護に関わる方を対象に研修会を開催いたします。



1972年マイアミ大学にて臨床心理学博士号取得。フロリダ州ノヴァ大学での4年間の助教授を経て、米国コロラド州にATTI（愛着形成療法&教育研究所）を設立。1985年から現在までに1000余りの家族を治療する愛着形成療法の第一人者。2002年より家族の絆である愛着形成の重要性を日本の養親・里親・専門職向けに講演。

テリー・リヴィー 心理学博士



デンバー大学にて社会福祉学博士号取得。ニューヨーク大学社会福祉大学院助教授を経て、コロラド州にアジア太平洋人精神保健センター設立。東京福祉大学名誉教授。平成16年北米の最新福祉支援技術を日本に紹介するクロスロード・フォー・ソーシャルワーク社設立。NPO法人里親子支援のアン基金プロジェクト理事長。

ヘネシー澄子 社会福祉学博士

6/25(火)-26(水) **東京** 文京シビックセンター

7/2(火)-3(水) **大阪** ドーンセンター

第一日目：子どもの喪失体験の理解（問題行動の背景）  
第二日目：愛着障がいを癒す関わり

共催：社会福祉法人 日本国際社会事業団  
公益社団法人 家庭養護促進協会  
一般社団法人 ATTI Japan  
後援：日本ファミリーホーム協議会

お問い合わせ：  
Email: [issj@issj.org](mailto:issj@issj.org) または  
<https://www.atti-japan.com>



